

## ■学校プールの統廃合の今後の取り組みについて

本年第1回定例会の代表質問において、学校プールの共同利用や、民間プールの活用を含めた統廃合を提案しました。その後5月に開催された「学校プール再編懇談会」では民間クラブを活用することで教職員の負担軽減や指導力向上等のメリットが見込めるという意見があり、今後さらに学校プールの統廃合の検討を進めていく中で、教職員の働き方改革にどのように繋げていくのか、また学校間でプールを共同利用する場合の効果について、どのように考えているか。



老朽化した市内の小学校のプール

### 教育長 答弁

自校のプールを利用しないため、日常的な管理が不要になり、インストラクターが授業の補助に入ることにより業務削減、教職員の働き方改革に繋がり、またプールを共同利用することで、管理費用の削減にも繋がり、インストラクターを配置することで児童にとっては泳力の向上、教職員にとっては指導力の向上につながり、民間クラブの活用と同様の効果が見込めます。

## ■街路樹の維持管理について

今年の第1回定例会において、維持管理費用の抑制や安全性の確保の観点からの質問に、「安全性に課題がある樹木については、植え替えや伐採をする」旨の答弁があり、永年の懸案事項が解決に向け一歩前進し、安堵したところ、7月に街路樹伐採に関する新聞報道があり、これを契機に伐採計画の見直しが表明された。議会において議論を重ね結論を得た方針が、一部の報道により批判があったことで、決定が翻ってしまった。今回の決定に至った経緯について説明を求めたい。



※写真はイメージです

景観と一体となった街路樹はいいな!

### 市長答弁

街路樹再生計画について、市民の皆様には十分計画の内容が伝わっておらず、丁寧に説明し、ご理解いただく必要があると考え、計画の実施を一時中断することとしました。

## ■持続可能な市電経営について

熊本市電については車両の老朽化、輸送力の不足、運転技術の継承等が課題である。この解決法として、「市電の上下分離方式」が検討されているが、内容を具体的に説明していただきたい。熊本市の公共交通を見直す場合は、市電の延伸を含め、地域のランドデザインについて、全市的な議論が必要であると考えているが、如何なものか。また、市電の輸送力不足については、多両編成車両の導入が検討されている。この導入は利用者満足度の向上や、経常収支比率の改善等、成果指標にどのような効果が見込まれるか。



素晴らしいランドデザインを...

### 交通事業管理者 答弁

市電を取り巻く環境は極めて厳しい状況であり、経営について見直しが必要である。経営分析を行うとともに、他都市の事例等を調査し、課題を整理し報告します。経営形態についても比較検討を進めます。持続可能な市電経営については、アンケートや住民説明会等を通して、利用者のニーズの把握に努めながら、公共交通全体を見据え、計画を推進していきます。多両編成車両の導入については、安全管理上これ以上にダイヤを増やすことはできないので、早期導入により改善に繋げたい。